

2018年年会WEBサイトは、現在作成準備中ですので、今しばらくお待ちください。

## 一般社団法人 日本鉱物科学会 2018年年会・総会のお知らせ

日本鉱物科学会2018年年会・総会を下記の要領で開催しますので、会員、共催学会会員、他皆様多数の参加と講演申込みをお願いします。

今年もレギュラーセッションと共に“火成作用の物質科学”と”岩石-水相互作用”のスペシャルセッションが企画されており、レギュラーセッション「R7:岩石・鉱物・鉱床一般」は従来通り資源地質学会との共催セッションです。このように、研究発表の機会であると共に新たなコラボレーションを模索する場となっておりますので、奮ってご参加をお願いします。

また、学生会員を対象とした「研究発表優秀賞」の審査には、従来のポスター発表に加え口頭発表も審査対象になり、受賞者には奨励金\*を授与することになっています。年々エントリー数が増加しておりますので、今年も奮ってエントリーしてください。

なお、9月22日(土)には国石ひすいに関する一般普及講演会が、19日には市内ツアーが予定されていますのでご期待ください。

年会最新情報は下記WEBサイト、E-mail配信にて随時お知らせいたしますので、ご確認ください。

年会案内各種情報サイト：「日本語」年会案内サイト：<http://jams.la.coocan.jp/2018nenkai/2018nenkai.html>

(年会HPは現在作成準備中)「English」年会案内サイト：[http://jams.la.coocan.jp/2018nenkai/e\\_2018nenkai.html](http://jams.la.coocan.jp/2018nenkai/e_2018nenkai.html)

### 1. 会場・日程

会場：山形大学 小白川キャンパス 基盤教育1, 2号館  
〒990-8650 山形市小白川町1-4-12

日程：2018年(平成30年)9月19日(水)～9月21日(金)

山形大学ホームページアクセス案内：<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/access/#koji>  
キャンパスが狭いので自家用車での来学はご遠慮ください

### 2. 会期中の予定 (時間は前後することがあります)

日 時	会 場	内 容
9月19日(水)午前・午後	基盤教育1号館	一般学術講演
17:00～		市内ツアー
9月20日(木)9:00～10:00	基盤教育1号館	一般社団法人日本鉱物科学会定時総会・授賞式
10:00～12:00		受賞者講演
午後		一般学術講演
16:30～		一般社団法人日本鉱物科学会 第1回理事会
18:30～20:30	ホテル・キャッスル	懇親会
9月21日(金)午前・午後	基盤教育1号館	一般学術講演
15:30～		クロージングセレモニー
9月22日(土)9:00～16:15	蔵王温泉・蔵王山	巡検：山形県山形市, 上山市, 宮城県蔵王町
9月22日(土)13:00～	ゆうキャンパス・ ステーション (山形駅前)	日本鉱物科学会一般普及講演「日本の国石・ひすい」

#### (1) 山形大学附属博物館特別展示のお知らせ

会期期間中、山形大学附属博物館において、特別展示として、「日本の国石・ひすい」を開催いたします。展示の詳細については、下記山形大学附属博物館のホームページに掲載予定です。

<http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/>

#### (2) 研究発表優秀賞審査

従来のポスター発表に加え口頭発表も審査対象となりました。また、受賞者には奨励金\*を授与することになりましたので、以下の要領で奮ってご参加下さい。

・審査対象条件	学生会員が筆頭著者として発表するポスターあるいは口頭発表のうちWEB講演申込み時にエントリーした発表とします。 (WEB登録発表形式選択の際「発表賞エントリー」を選択してください。)
・授賞対象者	審査対象発表講演の筆頭著者である学生正会員発表者に対して授与されます。非会員の方はWEB講演申込み期間中7月13日(金)まで入会手続きを完了して下さい。
・発表日	それぞれエントリーしたセッションの発表日となります。
・審査日	ポスター発表中あるいは口頭発表中に審査を受けます。
・結果発表	クロージングセレモニーで結果を発表し研究発表優秀賞授賞式を行います。
・表彰	受賞者に賞状を授与します。また、海外の学会等で研究成果を発表するあるいは海外で調査・研究を行うことを支援するための奨励金*を授与します(上限5万円)。

#### \* 奨励金 (海外渡航支援制度の内容)

- ・研究発表優秀賞を受賞した学生会員に対し、海外の学会等で研究成果を発表する或は海外で調査・研究を行うことを支援するため、奨励金を与える。
- ・海外渡航支援を受ける期間は、受賞から1年以内とする。
- ・支給する額は、本会の旅費規程に基づく実費相当の額とし、一件あたり上限を5万円とする。
- ・本賞を受賞した発表論文の講演番号、講演題目および受賞者名を年会報告とともにGKKに掲載する。また、海外渡航支援を受けたものは帰国後に海外渡航支援の成果を報告することとする。
- ・詳細：[http://jams.la.coocan.jp/Presen\\_Award.html](http://jams.la.coocan.jp/Presen_Award.html)

### (3) 懇親会

日時：9月20日(木)18:30～20:30 (予定)

会場：ホテル キャッスル 〒990-0031 山形県山形市十日町 4-2-7 TEL：023-631-3311

懇親会参加ご希望の方は「4. 各種費用と送金について」に従って参加登録料と共に申し込み下さい。

### (4) 巡検

「蔵王温泉・蔵王山」

日程：9月22(土)9:00～16:15 巡検の詳細は後ページ「12. 巡検のご案内」をご覧ください。

### (5) 市内ツアー

日程：9月19日 17:00 山形大学正門集合。扇状地を下りながら中心市街地を散策し、山形城東大手門解散。約1.5～2時間。事前申し込み不要。

案内者：大友幸子

## 3. 講演セッション内容

2018年年会で一般講演を募集するセッションは以下の「スペシャルセッション」2種、「レギュラーセッション」8種です。「趣旨と概要」をご覧になり講演申込期間中にWEBサイトからお申込をお願いします。

スペシャルセッション。 [a]を@に変えてください。	趣旨と概要	発表形式
<b>S1：火成作用の物質科学</b>  <b>コンピーナー</b> 浜田盛久: mhamada[a]jamstec.go.jp 上木賢太: kenta_ueki[a]jamstec.go.jp 潮田雅司: m.ushioda[a]jaist.go.jp 松本恵子: k.matsumoto[a]jaist.go.jp 無盡真弓: mujin[a]tohoku.ac.jp	マントルの部分融解と初生マグマの発生、分化、火山噴火、鉱床形成、接触変成作用、メタソマティズムなど、火成作用の素過程やダイナミクスを読み解く物質科学の最近の発展は目覚ましいものがある。それらの研究は主としてマントル捕獲岩、火山岩、深成岩、火山ガス、温泉水などの化学組成の分析や微細構造の観察などに基づき行われている。本スペシャルセッションは、火成作用の物質科学に関する最新の研究成果の相互交流を通して、本研究分野の発展に寄与することを目的としている。火成作用の理解に繋がる野外観察・観測、天然試料の分析、高温高压実験、理論モデルなど各分野からの研究発表を歓迎する。	口頭発表 ポスター

<p><b>S2：岩石-水相互作用</b></p> <p>コンピーナー  土屋範芳: tsuchiya[a]mail.kankyo.tohoku.ac.jp  奥山康子: okuyama-gsj[a]aist.go.jp  藤本光一郎: koichiro[a]u-gakugei.ac.jp  河上哲生: kawakami.tetsuo.3e[a]kyoto-u.ac.jp</p>	<p>本トピックセッションでは、「岩石-水相互作用」に関わる分野横断的な研究発表、情報交換を推進すべく、「みず」をキーマテリアルにして、地殻流体のキャラクタリゼーション、変成岩、火成岩との反応プロセス、熱水変質、鉱床、熱水実験、さらに流体の発生や移動プロセス、地殻内での流体の存在形態など基礎理論と実験に関する講演を広く募集する。研究の方法も、野外観察、実験、数値計算、モデリングなど多様な発表を期待し、地球プロセスにおける「みず」の役割を学際的に検討する。あわせて、除染の鉱物科学、放射性廃棄物地層処分、二酸化炭素の地層隔離、島弧システムと地熱エネルギーなどの地下利用に関する講演も募集する。</p>	<p>口頭発表 ポスター</p>
<p><b>レギュラーセッション</b></p>	<p><b>趣旨と概要</b></p>	<p><b>発表形式</b></p>
<p><b>R1：鉱物記載・分析評価</b></p> <p>コンピーナー  宮脇律郎: miyawaki[a]kahaku.go.jp  長瀬敏郎: nagase[a]m.tohoku.ac.jp  坂野靖行: y-banno[a]aist.go.jp  黒澤正紀: kurosawa[a]geol.tsukuba.ac.jp</p>	<p>本セッションでは、鉱物の記載およびそれを可能にする分析手法に関する研究を広く募集する。鉱物の様々な特徴（産状・形態・内部組織・結晶構造・組成・流体包有物・固相包有物・結晶欠陥など）と新鉱物の記載、鉱物の特性を解明する分析手法・解析手法の開発についての発表を歓迎する。</p>	<p>口頭発表 ポスター</p>
<p><b>R2：結晶構造・結晶化学・物性・結晶成長・応用鉱物</b></p> <p>コンピーナー  小松一生: kom[a]eqchem.s.u-tokyo.ac.jp  杉山和正: kazumasa[a]imr.tohoku.ac.jp  吉朝 朗: yoshiasa[a]kumamoto-u.ac.jp</p>	<p>本セッションでは、天然および人工鉱物の原子配列および微細構造、鉱物合成、結晶成長や溶解、相転移や物性、および鉱物の応用に焦点を当てた研究を広く募集する。物性では、磁気的性質、光学性質、熱力学的性質、吸着特性などの基本的性質に焦点をあて、その応用についても広く募集する。</p>	<p>口頭発表 ポスター</p>
<p><b>R3：高圧科学・地球深部</b></p> <p>コンピーナー  鍵 裕之: kagi[a]eqchem.s.u-tokyo.ac.jp  永井隆哉: nagai[a]sci.hokudai.ac.jp  井上 徹: toinoue[a]hiroshima-u.ac.jp</p>	<p>プレートテクトニクスやブリュームテクトニクスの概念は、地球深部のダイナミクスが地球の進化や地球表層の環境に大きな影響を与えていることを示唆し、地球深部の鉱物科学を理解することの重要性がより増してきている。本セッションでは、超高压高温実験、計算機実験、地球深部起源鉱物の記載などを通じ、地球深部の鉱物科学を広く議論する。対象は鉱物だけではなく、アナログ物質、非晶質、メルトの研究も歓迎する。</p>	<p>口頭発表 ポスター</p>
<p><b>R4：地球表層・環境・生命</b></p> <p>コンピーナー  横山 正: t-yokoyama[a]hiroshima-u.ac.jp  佐久間博: SAKUMA.Hiroshi[a]nims.go.jp  川野 潤: j-kawano[a]sci.hokudai.ac.jp  福土圭介: fukushi[a]staff.kanazawa-u.ac.jp  宇都宮 聡:  utsunomiya.satoshi.998[a]m.kyushu-u.ac.jp</p>	<p>地球表層を構成するナノ鉱物の結晶構造・化学組成・溶解析出および変質反応、生体鉱物の構造・組織や生成条件、水-鉱物界面の構造や化学現象、無機-有機相互作用など、地球表層鉱物全般および生物作用と環境への影響に関する発表を募集する。</p>	<p>口頭発表 ポスター</p>
<p><b>R5：地球外物質</b></p> <p>コンピーナー  中村智樹: tomoki[a]m.tohoku.ac.jp  瀬戸雄介: seto[a]crystal.kobe-u.ac.jp  橋 省吾: tachi[a]eps.s.u-tokyo.ac.jp</p>	<p>プレソーラー粒子、宇宙塵、隕石、月岩石、リターンサンプルなど地球以外を起源とする固体惑星物質の鉱物科学的な研究発表を募集する。（ただし、国際隕石学会で認められた正式名称が認可されていない隕石についての研究発表は認められません。仮名称(Provisional)のみ与えられている隕石の場合、発表当日までに正式番号を付与される見込みであることを発表申し込み時にコンピーナーに連絡してください。）</p>	<p>口頭発表 ポスター</p>
<p><b>R6：深成岩・火山岩及びサブダクションファクトリー</b></p> <p>コンピーナー  伴 雅雄: ban[a]sci.kj.yamagata-u.ac.jp  亀井淳志: kamei-a[a]riko.shimane-u.ac.jp  大場 司: t-ohba[a]gipc.akita-u.ac.jp  川本竜彦: kawamoto[a]bep.vgs.kyoto-u.ac.jp</p>	<p>深成岩及び火山岩を対象にした研究発表（サブダクションファクトリー関連を含む）を広く募集する。発生から定置・固結に至るまでのマグマの物理・化学的挙動や、テクトニック環境について、岩石学・鉱物学・火山学・地球化学・年代学など様々な視点からの活発な議論を期待する。</p>	<p>口頭発表 ポスター</p>

<b>R7：岩石・鉱物・鉱床一般</b> コンビナー 角替敏昭: tsunogae[a]geol.tsukuba.ac.jp 磯部博志: isobe_hrs[a]kumamoto-u.ac.jp	岩石学，鉱物学，鉱床学，地球化学などの分野をはじめとして，地球・惑星物質科学全般にわたる岩石及び鉱物に関する研究発表を広く募集する。地球構成物質についての多様な研究成果の発表の場となることを期待する。	資源地質学会との共催セッション 口頭発表 ポスター
<b>R8：変成岩とテクトニクス</b> コンビナー 中野伸彦:n-nakano[a]scs.kyushu-u.ac.jp 遠藤俊祐: s-endo[a]riko.shimane-u.ac.jp	プレート収束境界における地殻・マントルのダイナミクスを理解するため，岩石学，構造地質学，年代学的アプローチだけでなく，流体包有物分析や各種モデル計算，同位体地球化学など様々なアプローチを用いた研究成果を広く募集する。	口頭発表 ポスター

#### 4. 各種費用と送金について

##### (1) 参加登録料など一覧：

###### ・自動引落利用のお願い

ご希望なら下記年会参加費や懇親会費を【A】事前割引料金で学会会費と共に口座から自動引落をします。下記の(2)をご覧ください **7月20日(金)まで(締切厳守)**メールで事務局にお申し込み下さい。

###### ・送金のご注意：下記【A】事前割引料金は**8月31日(金)までに郵便振替で送金する**場合です。

**9月1日(土)以降，送金は一切受け付けません**ので送金しないで，年会当日会場受付にて，下記【B】年会当日会場受付料金を現金でお支払い下さい。

費用区分	会員区分	【A】事前割引料金 (自動引落希望者含む) 郵便振替送金締切： <b>8月31日(金)</b>	【B】年会当日 受付料金 年会開催期間中 <b>9月19日(水)～ 9月21日(金)まで</b>
参加登録料 (電子ジャーナル 要旨集WEBサイト 閲覧権込み)	一般会員，共催学会会員	6,000円	7,000円
	学生会員(学生・院生)， 共催学会(学生・院生)会員	3,000円	4,000円
	非会員一般	10,000円	11,000円
	非会員(学生・院生)	5,000円	6,000円
懇親会費	一般	6,000円	8,000円
	学生・院生	3,500円	5,000円

**お知らせ：**冊子体の講演要旨集の印刷・頒布は行いません。年会開催期間中とその前後に，電子ジャーナルとしてWEBサイトに公開しますことお知らせします。

**講演要旨閲覧方法：**参加登録費を納入された年会参加者には，年会間近になりましたら指定のWEBサイトをお知らせしますので，開催期間中と開催前後の一定期間中に電子ジャーナル講演要旨集を閲覧，ダウンロードしていただきます。

なお，無料の閲覧はJ-Stageにおいて年会終了後半年以降に公開します。

##### (2) 会員の口座引落希望の場合：

**口座引落希望連絡メール締切：7月20日(金)(締切厳守)まで**

通知内容：「費用区分」，「料金」，「参加登録費領収書発行希望」など

連絡方法：メールで事務局まで

口座引落日：**平成30年8月6日(月)に日本鉱物科学会学会費と共に引き落とします。**



**(3) [A] 事前割引料金の送金方法：**

郵便振替送金締切：8月31日(金)まで(9月1日以降は送金をしないで当日お支払い下さい。)

送金方法：郵便局備え付け青色郵便振込用紙を使用(送金手数料本人負担)

★注意：従来使用していました年会郵便振替口座は、一般社団法人化後、複数の口座を使用できなくなりましたことから、下記学会費送金口座1本になりましたので、お間違いの無いようお願いします。

郵便振替口座：02260-9-89602 加入者名：一般社団法人日本鉱物科学会

送金明細記入：「費用区分」、「会員区分」、「料金」、「住所、所属、氏名」、「参加登録費領収書発行希望」など必要事項を必ず記載して下さい。

**(4) 領収書の発行：**

「参加登録費領収書発行希望」と、郵便振替送金の場合は郵便振替用紙に記載、自動引落希望の場合は申込メールに記載して下さい。領収書は「参加登録料」のみ発行します。

領収書は当日、会場受付で名札と共にお渡しします。

**(5) セッション共催会員：**

セッション共催予定の資源地質学会会員は日本鉱物科学会会員と同等となります。上記の「一般会員」、「学生会員」参加登録料となります。また、会期中すべての講演を聞くことができます。但し、講演発表ができるセッションは共催予定の「R7：岩石・鉱物・鉱床一般」セッションのみとなります。講演申込は以下の6、7、8の説明に従ってお申し込み下さい。

**5. 支払済みの参加登録料、懇親会費などのキャンセルについて**

支払済みの参加登録料、懇親会費などのキャンセルについては以下の手続きいたします。

- \* 参加、講演発表キャンセルの場合、学会事務局(KYL04223@nifty.ne.jp)へ必ずメールで連絡して下さい。
- \* 折り返し事務局から確認通知などご連絡をいたします。
- \* 返金については下記の通りですので、ご了承をお願いします。

なお、返金送金手数料は返金額より差し引きます。

参加登録料 懇親会費 など	[A] 2018年7月31日(火)17:00までのキャンセル連絡	(1)年会参加のみ予定の場合は全額返金 (2)講演発表申込者には 1/2返金	参加登録料未払いの講演申込者のキャンセルについて [A]の場合： 半額請求 [B][C]の場合： 全額請求
	[B] 2018年8月31日(金)17:00までのキャンセル連絡	(1)年会参加のみ場合は 1/2返金 (2)講演発表申込者には返金しません	
	[C] 9月1日(土)以降のキャンセル連絡	返金しません	

**6. 講演申し込み期間**

**2018年年会案内WEBサイト： <http://jams.la.coocan.jp/2018nenkai/2018nenkai.html>**

**WEB講演申し込み期間：**  
**2018年6月25日(月)9:00～7月17日(火)20:00まで**

**◆注意事項◆**  
登録申し込みの最終日時7月17日(月)20:00以降はサーバーが切断され、一切アクセスできませんのでご注意ください。例年締切時刻直前の申し込みではサイトが混雑しアクセス困難や不可能となることがありますので、ご注意ください。申し込み期間中早い時期の申し込みをお願いします。申し込み期間中は登録内容確認、変更が何度でも行えますので、余裕を持って申し込みをして下さい。

**7. 講演発表者の条件**

講演発表者条件	① 講演発表者は原則として日本鉱物科学会会員に限ります(招待講演者は除く)。但し、今回の共催セッション[R7セッション]には資源地質学会会員も発表可能とな
---------	---

(非会員招待講演者には適用しません)	<p>ります。</p> <p>② 著者に日本鉱物科学会会員が含まれない非会員のみ講演申込みはできません。但し、非会員招待講演、共催セッション「R7セッション」には適用しません。</p> <p>③ <b>特例</b> 日本鉱物科学会年会での講演発表が今回初めての場、今回1回限り共著者の中に日本鉱物科学会会員が含まれていれば非会員でも発表者になることができます。(この特例は共催学会会員には適用されません。)なお、昨年以前にこの特例を利用して非会員で発表し、現在も非会員の方は再度の利用はできません。</p> <p>④ 研究発表優秀賞エントリーは<b>学生会員で筆頭著者</b>であること、発表するポスターあるいは口頭発表が審査対象となります。必ずWEB講演申込み時にエントリーすること。非会員学生がエントリー希望の場合 <b>2018年7月13日(金)までに以下の⑤の要領で会員申込を完了すること。</b>なお、<b>研究発表優秀賞のエントリーは、WEB講演申込み時以外の申込はできません。</b></p> <p>⑤ 入会申し込み 日本鉱物科学会会員として講演申込みを希望の方は<b>2018年7月13日(金)までに事務局あて入会申込を送信し、事務局から受付完了メールを受領して下さい。</b>入会申込用紙は <a href="http://jams.la.coocan.jp/nyukai.html">http://jams.la.coocan.jp/nyukai.html</a>からダウンロードして下さい。<b>入会受付完了をしていない講演申込みは会員による講演申し込みとして認められませんのでご注意ください。</b></p> <p>⑥ 上記条件を満たせば、発表の件数に制限はありません。</p>
--------------------	---

## 8. 講演申込み方法

- WEB上で講演申し込みをしていただきます。詳細は年会WEBサイトでお知らせします。
- **お願い：**下記サイトのWEB入力一覧をご覧になり、入力に必要な情報を確認し予め準備して下さい。  
<http://jams.la.coocan.jp/2018/nenkai/18web.html>

## 9. 電子ジャーナル公開用講演要旨について

### (1) 講演要旨原稿作成について：

- 今までと同じ記載内容の「**13. 講演要旨原稿執筆要領**」に従い、原稿サイズも変更ありませんのでまずは、WORDなどを使用して**B5判サイズ(横182mm×縦257mm)**で講演要旨原稿を作成して下さい。
- その次に、**著者の責任でPDFファイルに変換して、WEB講演申込みサイトにてアップロードして下さい。**
- **注意：**なお、著者が作成したPDFファイルに文字化けがないか、フォントの埋め込みなど正しく表示されているかどうか、原稿サイズの間違ひはないかなど、著者の責任でPDFファイルを確認して下さい。  
**事務局では講演要旨原稿の作成、確認はいたしません。**

### (2) 講演要旨公開方法

- 冊子体の講演要旨集はありませんので、電子ジャーナル講演要旨としてWEBサイトに公開します。
- 年会開催期間中とその前後の一定期間に指定の)WEBサイトに講演要旨を公開します。
- 参加登録費を納めた年会参加者に、講演要旨公開作業が完了しましたら別途閲覧方法をお知らせします。

## 10. 口頭発表、ポスター発表の注意

### (1) 口頭発表の講演時間は質問時間を含めて15分です。

- 講演では、液晶プロジェクターの使用のみが可能です。
- パソコンは、Windowsを各発表会場に1台設置します。
- 発表用データ作成段階から各自使用するアプリケーションソフトとWindows環境との動作確認をして

発表データを準備してください。

- ・当日は各セッション開始前の休憩時間中に発表用ファイルを移し、動作を確認しておいてください。
- ・Mac使用や動画等を含む発表では、コンピューター本体を各自が持ち込み、プロジェクターにつないで発表することが前提になります。特にMac使用の場合はパソコン切り替え機(ケーブル形状はD-SUB15ピン)へのアダプターを忘れずに、ご持参下さい。これらのセッティング時間も講演時間15分に含まれますことを予めご了承下さい。

## (2) ポスターセッションについて

- ・ポスター用のボードのサイズは、横120 cm × 高さ180 cmです。
- ・ポスターセッションには質疑応答の時間(コアタイム)を設けます。

## (3) 研究発表優秀賞にエントリーについて

研究発表優秀賞にエントリーする学生会員は、WEB講演申し込みの際「発表形式」選択で「発表賞エントリー」を選択して申し込みして下さい。

## 11. 年会のプログラム

8月中旬ごろ年会WEBサイト：<http://jams.la.coocan.jp/2018nenkai/2018nenkai.html>で公開します。

## 12. 巡検のご案内

本年会では、下記1コースのみ、巡検を企画しております。

- ・今回の巡検では定員と最小催行人数を設定させていただいています。また、参加人数により参加費に変動があります。
- ・定員をオーバーした場合は先着順となりますこと、最小催行人数以下の申込者であった場合には、巡検を中止することもありますことを、それぞれご了承下さい。
- ・巡検参加のお問合せお申し込み方法：

参加者氏名・性別・所属・連絡先を明記し、直接、山形大学の伴雅雄(ban@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)と中島和夫(nakashi@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)の両方宛て、8月15日(水)までにメールでお申し込み下さい。

(巡検に関して、JAMS事務局では対応いたしませんのでご注意ください。)

- ・巡検名称：蔵王温泉，蔵王山
- ・募集人数：20人(最小5人) 参加費：3,500円程度(チャーターバスの概算)
- ・案内者(お問い合わせ先)：中島和夫，伴雅雄(山形大学)
- ・日程，コース，注意事項

9月22日(土)

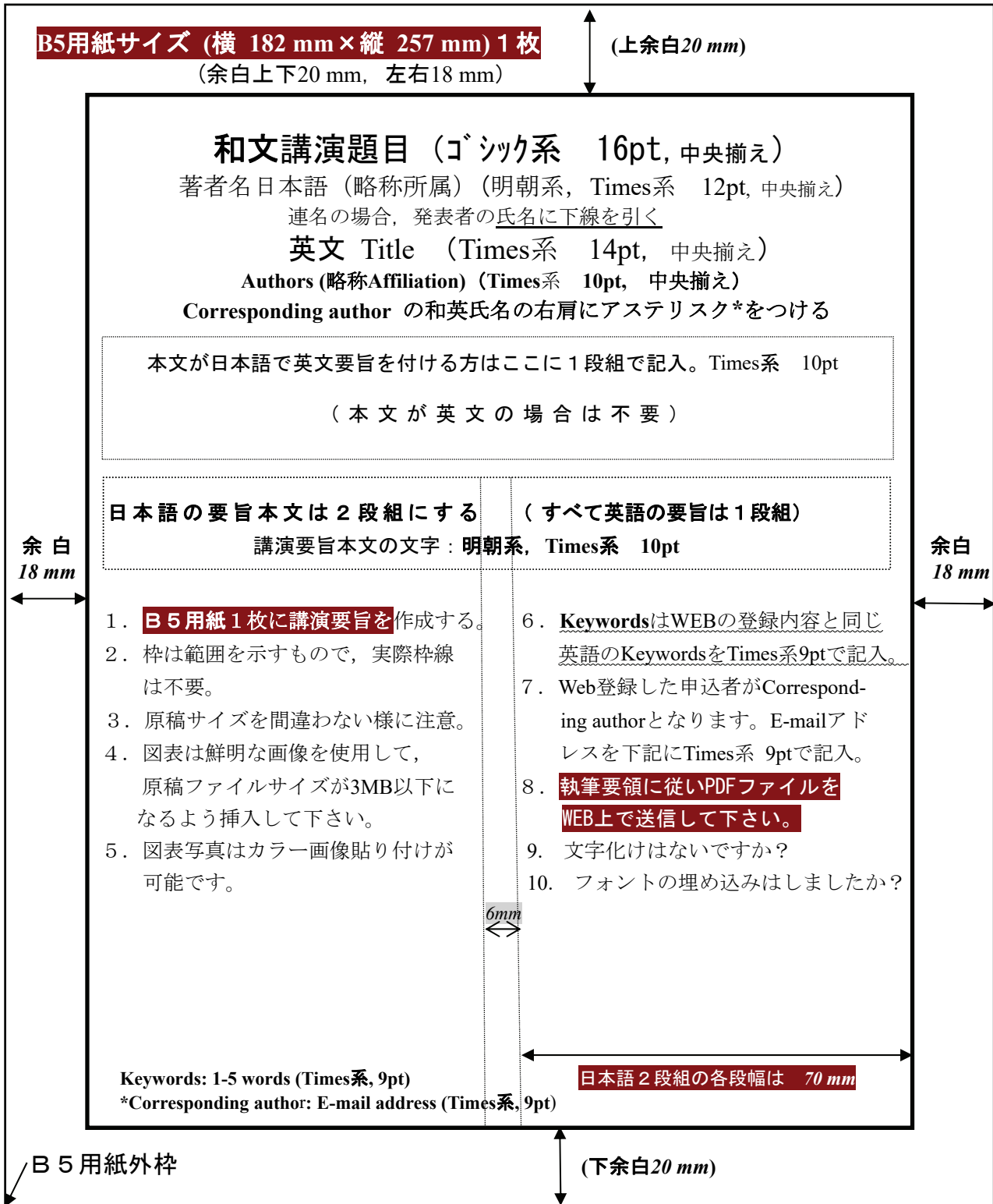
山形大学小白川キャンパス正門(9:00発)ー樹氷橋付近(9:30着)ー地形と蔵王温泉のでき方見学(9:55発)ー酢川(10:10着)ー石膏の観察(10:10-11:10)ー蔵王山刈田岳駐車場(11:40着)ー山頂付近見学(11:40-12:15)ー昼食(12:15-13:00)ー大黒天(13:20着)ー輝石の遊離結晶の観察(13:40-14:40)ーJR山形駅経由16:00頃ー小白川キャンパス正門(16:15頃着)

服装はハイキングスタイル。昼食、雨具は各自持参のこと。山頂付近は寒い場合もあります。天候などによってはコースなどに変更が生じる場合もあります。

- ・巡検は年会の一部ですので、巡検のみ参加ご希望の会員、共催会員、後援学会会員、非会員の方は、巡検参加費の他に2018年年会参加登録費も納めていただきます。
- ・申込締切後、巡検費用の支払い方法や巡検の詳細についてご連絡いたします。

### 13. 講演要旨原稿執筆要領

講演要旨を以下のレイアウトに従って作成してください。原稿サイズはB5判サイズ(横182 mm×縦257 mm)です。WORDなどで作成してから、**著者の責任でPDFファイルに変換して、講演申込みサイト上でアップロードして下さい。**なお、各ファイルサイズは、3MB以下になるよう作成してください。  
英語による講演要旨執筆要領は英語の年会案内WEBサイトに掲載されています。





#### 14. 宿泊申し込みのご案内

- ◆お願い：学会期間中は観光シーズンであり、また他の学会の開催と重なることから、山形市内での宿泊は早期に手配頂きますようお願いいたします。
- ◆参考：懇親会場のホテル キャッスル様より、学会参加者の宿泊に関して特別プランを用意して頂いています。ホテルへ電話(023-631-3311)、またはホテルのWEBサイト(<http://premierhotel-group.com/hotelcastle/>)より直接予約し、その際に「鉱物科学会に参加する」旨を伝えて頂くと、1泊7,000円(内税、朝食1,900円込)となります。楽天やトリバゴ等の宿泊サイトからの予約では適用されませんのでご注意ください。その他、山形駅周辺や七日町付近に宿泊施設があります。

#### 15. 2018年年会各種お問い合わせ先

##### ◆講演セッション、山形大学開催会場など

伴雅雄（山形大学理学部）

E-mail: ban@sci.kj.yamagata-u.ac.jp TEL: 023-628-4642（直通）

##### ◆WEB登録関係、講演要旨作成、会員番号、入会申込み、参加登録料関係など

一般社団法人日本鉱物科学会 事務局：E-mail: KYL04223@nifty.ne.jp TEL/FAX : 022-224-3852

#### 年会開催までの重要日程一覧

日程、締切	内 容	
6月25日(月)9:00から	WEB上での講演申込み開始日～7月17日(火)まで	指定の講演申込みWEBサイト
7月13日(金)まで	講演発表者の入会申込み締切	JAMS事務局
7月17日(火)20:00まで	WEB上での講演申込み最終日 締切	
7月20日(金)まで	口座引落者の参加登録費引落申込締切	JAMS事務局
8月6日(月)	参加登録費など口座引落日	
8月中旬	プログラム日程公開予定	2018年年会WEBサイト
8月15日(水)まで	巡検申込締切	巡検担当者
8月31日(金)まで	郵便振替口座への参加登録費など送金締切	郵便局にて送金

##### 日本鉱物科学会2018年年会運営委員会：

中島和夫(委員長)

委 員：伴雅雄(副委員長)，加々島慎一，湯口貴史，岩田尚能，大友幸子

黒澤正紀(行事幹事)，角替敏昭(行事副委員長)，磯部博志(行事副委員長)

##### 鉱物科学会2018年年会プログラム委員会：

黒澤正紀(委員長)，角替敏昭(副委員長)，磯部博志(副委員長)

委員：鍵 裕之，片山郁夫，河上哲生，橋 省吾，寺崎英紀，湯口貴史(2018年LOC委員)